

## 森町教育委員会定例会会議録 (要旨)

会議名	令和6年12月森町教育委員会定例会					
開催日時	令和6年12月25日(水) 13時30分					
会場	森町文化会館 第2研修室					
出席委員	教育長	野口和英				
	委員	村松昌吾				
	委員	佐藤佐和子				
	委員	宮崎智栄				
出席者	学校教育課	課長	塩澤由記弥	社会教育課	課長	三澤由紀子
		課長補佐	土屋成弘		課長補佐	堀内裕文
		庶務係長	鈴木真央		課長補佐	磯谷博俊
	健康こども課	課長	朝比奈礼子		社会教育係長	中村美幸
					社会体育係長	川合一樹
傍聴者	なし					

### 1 開会

教育長	委員の出席を確認し、開会を宣告。
-----	------------------

### 2 前回会議録の承認

教育長	事前に配付してある前回定例会の会議録について、質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
教育長	前回定例会会議録の承認を宣し、教育長の報告を行う。

### 3 教育長の報告

教育長	<p>12月に開催及び出席した各種会議等について報告する。</p> <p>1日・地域防災訓練 (災害対策本部設営訓練)</p> <p>2日・課長会議 (総務課からの連絡等)</p> <p>・園長校長会 (和顔愛語(2) 教育委員会行事等)</p> <p>3日・令和7年度人事異動事前面談 (小中学校長との個々面談)</p> <p>・西部危機管理局副局長来庁 (防災士養成講座についての説明)</p> <p>・北海道森町女性研修帰着報告 (派遣者3名の研修報告・帰着挨拶)</p> <p>・森の夢づくり大学理事会 (令和7年度応募教授採否決定等)</p> <p>4日・12月森町議会本会議(招集) (条例改正・一般会計補正予算・特別会計補正予算)</p> <p>・全員協議会 (機構改革)</p> <p>・城下まちづくり事業議員説明会 (歴史的資源活用による事業説明)</p> <p>・静教組磐周支部役員来庁 (令和7年度人事異動に関する要望)</p> <p>5日・森町文化会館自衛消防訓練 (避難誘導・初期消火・起震車体験・3歳児親子学級講評等)</p> <p>6日・袋井人権擁護委員来庁 (今年度の取組報告等)</p> <p>・遠州の小京都リノベーション推進会議(事業進捗状況報告等)</p> <p>・第3回就学支援委員会 (就学支援対象児童生徒の審議)</p>
-----	--

	<p>7日・第22回袋商ショップ (袋井商業高校の袋商ショップ参観)</p> <p>9日・一般質問打合せ (12月議会一般質問に係る打合せ)</p> <p>11日・森町議会本会議(2日目) (条例・補正予算・一般議案・決算認定質疑)</p> <p>13日・交通安全インターバル作戦 (年末の交通安全県民運動街頭PR)</p> <p>・課長会議 (総務課からの連絡等)</p> <p>17日・森町健康づくり推進協議会 (子育て支援・産後事業等)</p> <p>・わかばクリスマス会 (支援センターでのクリスマス会)</p> <p>・磐周中体連理事長来庁 (部活動地域移行情報交換)</p> <p>18日・森町議会本会議(3日目) (一般質問への答弁)</p> <p>19日・森町PTA連絡会来庁 (町P連から要望書受領及び回答)</p> <p>・次郎柿ワイン完成祝賀式 (小國神社での完成祝賀式)</p> <p>・人権啓発推進協議会・人権講演会</p> <p>20日・森町議会本会議(最終日) (条例・補正予算・一般議案の討論・採決)</p> <p>・静教組磐周支部長来庁 (教職員人事異動に係る要請訪問)</p> <p>21日・ジャパンラグビーリーグワン開幕戦 (静岡ブルーレヴズVSコベルコ神戸スティーラーズ観戦)</p> <p>(ヤマハスタジアム)</p> <p>23日・森町商工会事務局長来庁 (森町の企業情報誌贈呈)</p> <p>25日・教育委員会定例会 (12月定例会)</p> <p>・2市1町教育委員会懇談会 (磐田市役所での懇談会)</p> <p>27日・課長会議 (総務課からの連絡等)</p> <p>・仕事納め</p>
教 育 長	教育長の報告について、質疑を求める。
委員 全員	質疑なし承認。

#### 4 付議する案件

##### 【報告事項】

教 育 長	報告事項について事務局に説明を求める。 報第32号について説明を求める。
社会教育課 堀内課長補佐	報第32号 第25回静岡県市町対抗駅伝競走大会結果について 3年ぶりに森町が入賞を果たし、昨年のタイムより少し上回った結果であった。昨年優勝したチームは2時間14分台で大会記録を作っており、非常にハイレベルな大会であったため、今年は何のチームもタイムを落とす結果となった。その中でも森町はタイムが伸びて昨年の8位から6位に順位を上げることができた。選手の中には体調が悪かったり怪我をして走れない子もいたが、そのような中でもチームワーク良く協力しながら参加できたことが結果に繋がった。
教 育 長	テレビでご覧になった方も多いと思うが、私も現地に行って応援した。1区の選手は中学生でありながら高校生と走り、良く食らいついていたと思う。
委員 全員	質疑なし承認。
教 育 長	報第33号について説明を求める。
学校教育課長  社会教育課長	報第33号 森町議会12月定例会報告について 4日(水)に本会議の招集があり、条例、補正予算等の提案理由の説明をし、11日(水)の本会議2日目には、提案されたそれぞれの議案について質疑が行われた。18日(水)の本会議3日目は一般質問がなされ、20日(金)の最終日に議案の討論、採決が行われた。教育委員会に係る内容について説明する。 予算について、社会教育課から債務負担行為と支障木伐採等手数料の補正を計上した。「城下地区歴史的資源活用まちづくり事業伴走支援業務委託料」については、令和6年度から7年度にかけての契約を結びたいということで債務負担行為補正を計上し、全員協議会終了後には議員の皆さんに対して事業説明をし理解をいただいた。質疑も「地元の理解は得られているのか」や「文化財保護審議会との調整は図れているのか」等あったが、お

学校教育課長  
社会教育課長

認めいただいた。

一般質問については、5人の議員から質問があり、その中で教育委員会に係るものについて2名の議員から質問があった。

まず佐藤議員から中学校部活動地域移行の状況について質問があった。1点目として、「現在の進捗状況はどうか。また協議会が開催されていると思うが、同会議で方向性や将来の計画は示されたのか。」という内容であった。教育長からの答弁として、進捗状況については、令和5年度に有識者や学校関係者、スポーツ・文化関係者等を委員とする森町地域クラブ活動推進協議会を設置し、これまで3回の会議を開催している。また広報もりまち12月号と町のホームページにも中学校部活動の地域移行について掲載させていただいている。そこで移行スケジュールを公表しており、そのスケジュールに基づいて本年度は中学校において合同部活動を推進している。移行の取り組みとしては、地域クラブ活動の推進体制、指導体制の整備、運営体制の検討を行っているところである。また協議会の中では、少子化が進み子供の数が少ない現状を踏まえ、将来的には中学生の年代だけでなく幅広い年代と一緒に活動し、子供たちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保を目指していくことを方針としていると答えた。将来の計画については、スケジュールに基づいて令和10年度を目標に今ある部活動を段階的に地域クラブ活動へ移行していく計画であることを伝えた。続いて2点目の「指導者確保のための取り組みはどうか。」という質問については、12月に広報や回覧等で地域クラブ活動の指導者の募集を開始していることを伝えながら、今回の募集については、応募後直ちに指導を開始するのではなく、まずはどのような種類の指導者が存在するかの把握を目的としていること。またその後の試行として、複数のスポーツ・文化芸術活動を体験できるクラブの設置を検討していることを伝え、さらに今中学校で行われている部活動の種目を指導できる方がいれば、外部指導者として関わっていただくことを想定していると答弁した。3点目の掛川市や磐田市と比較したものになるが、「現在森町にはいくつの公認地域クラブが登録されているか、また今後公認地域クラブの登録予定はあるか。」との質問については、最初に一般論としての公認地域クラブについて説明をした。公認地域クラブは、移行の段階において設定要件を満たす中学校部活動に準じた活動を行う団体を市町が独自に公認し、適切な地域クラブ活動の運営ができるよう、活動への支援等を行っているものである。認定の要件の主なものとして、ガイドラインに準じた活動や指導者研修の提供、また適切な活動時間や休養日の設定などがあり、公認した市町では活動場所の優先使用や使用料の減免、活動の広報等の支援を行う。この前提で、そういったものは今のところ森町にはないと答えた。子供の人数や活動しているスポーツ・文化芸術団体の数等の現状を踏まえ、公認の考え方や持続可能な地域クラブ活動について森町としてどうしていくか検討しているところである。引き続き全国の取り組み事例を参考に協議会でも協議しながら検討を重ねていく。4点目の「完全移行する計画はあるのか、また学校教育の関係はどのようになるのか。」という質問に対しては、最初の質問で移行スケジュールについて触れているため、令和10年度に地域クラブ活動へ完全移行することを目指していき、可能な部活動から段階的に移行していく計画があると伝えた。指導者や活動場所の確保、保護者の負担と課題の解決には困難が予想されることから、活動が少人数で指導者や活動場所が確保しやすいクラブや、スポーツ少年団等の実績があり中学生を受け入れられる体制があるクラブを中心に、地域クラブ活動としての環境作りをした上で順次地域移行していきたいと答えた。また部活動と学校教育との関係については、今までの部活動は学校規模や教職員指導者の条件等により活動種目や活動場所が限定されたものであるが、地域クラブは学校部活動の種目以外の多種多様な活動が生まれる可能性を持っているため、生徒にとっては選択肢が広がるメリットがあり、今後生徒の興味関心が高まり新たな学びや経験をする機会となることを期待している。また幅広い年代が未永く将来にわたり活動できることになるため、今までの活動では関わりの薄かった地域の小学生や高校生、社会人等の繋がりが生まれることも考えられる。家庭、地域、学校それぞれの立場から連携・協働しながら地域全体で取り組み、地域に根差した持続可能な森町ならではの地域クラブとして今までの学校教育とは違った新たな役割を果たすことができるクラブにしていきたいと答弁した。佐藤議員は、地域クラブとして活動が始まっている掛川市や磐田市が進んでいて森町は遅れているという認識が根底にあるようで、公認しなければ受け皿ではないという考え方であると受け止めた。森町がどのように進めていくのかを検討しているということしか現在は申し上げられないが、議員としては早く公認して進めてほしいと思っているのではないかと感じた。

教 育 長

森町としては、掛川市や磐田市と比べて決して遅れているということではなく、中学校2校という特性もあることから、合同部活をベースとして移行できるものは移行し、それ

	とは違うものも新たに取り入れていきたいということをご理解いただけたと思う。
学校教育課長	情報として補足するが、最近報道でもあるように次期の学習指導要領の見直しの動きが始まっている。部活動のあり方についても明記されるようになり、学校の中の認識も具体的になっている。その中でこれまでの「地域移行」から「地域展開」という名称が使われるようになってきた。地域移行であれば学校から地域へ移るということであるが、地域展開となると、今あるものが徐々に周りに広がっていくというイメージである。全国的にも部活動を廃止し地域に完全移行すると言っている市もあれば、部活動は残したまま移行するとしている市もあり様々である。地域移行を0か100かではなく、学校や行政、地域の役割の中でみんなで広く取り組んでいくという方向性が示されつつあるため、国の動向も踏まえながら森町も検討していければと考えている。
教育長	地域によって指導者を含め受け皿があるかが非常に大きな問題であり、そのような背景から言葉も変わってきたのかなと思う。
学校教育課長	次に清水議員から町内学校の暑熱対策についての質問があった。1点目として今年の夏も非常に暑かったことから、「下校時の対策について課題があると思うがどうか。」という内容であった。教育長からの答弁として、午後1時から3時の気温が最も高くなる時間帯での下校となることが課題であると捉え、各学校において飲み物の準備や帽子の着用、ネッククーリング等の暑さ対策グッズ、また日傘の利用などを呼びかけ、熱中症予防への意識の高揚を図っている。さらに下校の際には健康観察を行い、体調が悪い児童がいれば保護者の迎えを依頼したり、バスに乗るまでの時間がある児童は空調のある教室で待機する等の対応をとっている。特に低学年は一層の注意が必要であると考えられるため、上級生と一緒に集団下校をする等の対策も行っていると説明した。2点目として「飯田小の児童が下校時にバス乗車後、気分を害した事例のその後の対応と他校への展開はされたのか。」という質問であった。7月に飯田小児童が秋葉バス乗車中に車内で気分が悪くなり嘔吐し、秋葉バスの乗務員に学校まで送ってもらい保護者が迎えに来たという事例があった。これは熱中症との関係は不明であるが、この事例以降、学校ではより慎重に児童の健康観察をしたり、飲み物のチェック等熱中症対策のさらなる徹底を図っている。教育委員会においても園長・校長会の中で事例報告をするとともに、学校でできる対策は全て行うよう指導している。また地域の皆さんには放課後見守り隊や子供110番の家等のご協力をいただき、登下校の安全を見守っていただいているが、交通安全だけではなく、暑さによる児童生徒の体調不良についての目配りについても引き続き協力を呼びかけていきたいと考えていると答弁した。
教育長	戸綿方面のバス停には屋根があるが、市場方面については日よげができるものがない。なかなかすぐに整備するのは難しいため、健康観察や暑さ対策等、できることはやるように各学校には伝えている。
委員全員	質疑なし承認。

## 5 連絡事項

教育長	連絡事項について、説明を求める。
庶務係長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日定例会終了後、2市1町の教育委員会懇談会が磐田市で開催されるため出席をお願いする。</li> <li>・次回定例会を1月24日(金)13時30分から第2研修室で開催予定。</li> <li>・第2回総合教育会議を2月25日(火)の10時30分から開催予定。それに当たり定例会の時間を9時30分に早める予定でいるため出席をお願いする。</li> </ul>

## 6 閉会

教育長	以上で本日の日程を終了し、閉会とする。 14時00分閉会
-----	---------------------------------

上記のとおり、会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

署 名 人 教 育 長

---

委 員

---

委 員

---

委 員

---

事 務 局

---